

Course number		U-LAS01 10007 LJ38					
Course title (and course title in English)		西洋史 I Western History I		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Part-time Lecturer, ABE TAKUJI	
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		History and Civilization(Foundations)	
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A	
				Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)	
				Year/semesters		2025・First semester	
Days and periods		Wed.2		Target year		All students	
				Eligible students		For all majors	
[Overview and purpose of the course]							
<p>本講義は主に文献史料（翻訳されたもの）を読解することにより古代ローマの社会・文化についての理解を高めることを目的とする。また、その過程で歴史の学習と歴史学の研究の相違についても認識を深める。授業内容としては、最初に近年の歴史学を取り巻く諸問題について、講師と受講生のあいだで意見を交換したのち、盛期古代ローマ史の各論について文献史料を配布し、史料の解釈について授業参加者全員で議論していく。</p>							
[Course objectives]							
<p>古代ローマ帝国の社会・文化についての基礎知識を獲得する。それと同時に、歴史学の研究手法の特性を理解する。</p>							
[Course schedule and contents)]							
<p>基本的に以下の計画にしたがって講義を進める。ただし、講義の進み具合などに応じて、順序や進度を調整する可能性がある</p> <p>（序論 歴史学とは何か）</p> <p>第1回 授業内容・進め方についてのガイダンス</p> <p>第2回 歴史学についてのアンケート</p> <p>第3回 歴史学の研究と歴史小説の相違 / 近年の境界線の揺らぎ</p> <p>第4回 近代歴史学の成立 / 学問の創成と方法論の確立</p> <p>第5回 歴史の有用性 / 歴史学の有用性</p> <p>第6回 歴史学に吹く逆風 / 歴史学の可能性</p> <p>（各論 古代ローマの社会と文化）</p> <p>第7回 ローマ帝国と娯楽文化</p> <p>第8回 コロッセオと剣闘士競技</p> <p>第9回 剣闘士にたいするあこがれ / 競技中の死亡率</p> <p>第10回 「記憶の場」としてのコロッセオ</p> <p>第11回 ポンペイとヴェスヴィオ火山</p> <p>第12回 火山噴火と資料保存 / 非文献史料の処理</p> <p>第13回 地方都市の選挙戦 / 市民の日常生活</p> <p>第14回 パンとサーカスのローマ史</p> <p>第15回 学期末試験</p>							
<div style="text-align: right;">Continue to 西洋史 I (2)</div>							

西洋史Ⅰ(2)

[Course requirements]

高等学校で世界史を履修していることが望ましい。

[Evaluation methods and policy]

期末試験 70点（論述）

平常点 30点（授業中に求める課題の提出状況によって、平常点を審査する）

[Textbooks]

Not used

授業中に適宜資料を配布する。特定の教科書は使用しない。

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

予習、復習については、講義中に紹介する関連の一次史料（翻訳で可）や研究文献を、適宜あわせ読むことを推奨する。

[Other information (office hours, etc.)]

[Essential courses]